

Ⅲ 「交通安全の充実」に向けた取組 実践協力校：石巻市立釜小学校



「交通安全の充実」に向けた取組

石巻市立釜小学校

1 ねらい

交通安全についての知識について具体的な実践活動を通して理解し、日常生活において安全に行動する態度や習慣を養う。

2 テーマ

自分の命は自分で守る意識を高め、危機を予知して回避するために適切な行動をとる力を身に付ける。

3 指導時数

- | | |
|------------------------|---------------------|
| (1) 春の交通安全教室 | …学校行事 1 |
| (2) 釜地域の交通安全を考える | …総合的な学習の時間 10 (3年生) |
| (3) 学校区パトロール・常時指導・街頭指導 | …課外活動 |

4 指導の流れ

(1) 春の交通安全教室

石巻自動車学校の協力をいただきながら、路上歩行指導と自動車学校指導員による事故の様子の実演の見学を予定していたが、雨天のため決行することができなかった。そのため、予定していた指導内容(急ブレーキで止まる距離、運転手からの死角など)について学ぶことができる動画を視聴しながら教室で学習を行った。

(2) 釜地域の交通安全を考える(全10時間)

3年生の総合的な学習の時間において、釜地域の交通安全について考えた。

第1時では、石巻市内の身近な場所で発生した事故のニュース映像や、石巻警察署の交通安全課から提供いただいた釜小学区の事故発生マップを提示することで、実際に身近な場所で事故が起こっていることに気付かせた。

また、保護者と一緒に家の周辺・学区内の危険箇所を探す課題を設定して、児童に加えて保護者も考えたことをワークシートに記入する欄を設けることで、保護者にも交通安全についての啓発を図った。

第2時では、見付けてきた危険箇所を伝え合い、釜小学区で実際に事故が発生した場所をGoogleマップのストリートビューで確認することで、どのような場所で事故が発生しているのか、事故が発生しやすい場所の特徴を考えさせた。



警察署から提供された学区内の事故マップ

第3～4時では、交通安全アドバイザー小川教授の解説を聞き、危険箇所を考える上での視点を持つことができるように、「見通しの悪い」とはどのような状態なのか、どのような状況で「飛び出し」をしてしまうのか、体験を交えながら学習した。

第5～6時では、小川教授に教えていただいた危険箇所の視点を持った上で、Google マップのストリートビューで学区内の様子を見ながら危険箇所を探した。

その後、第7～10時で釜小学区交通安全マップを作成し、学習のまとめを行った。作成したマップは学習参観日や学校行事に合わせて掲示をすることを通して、他学年や保護者に対しても交通安全意識の啓発を行った。



「見通し」の概念について学ぶ様子

(3) 学校区パトロール・常時指導・街頭指導

学校区パトロールは年に4回、PTAや地域団体と連携を図りながら実施し、不審者被害の防止や交通事故防止に努めている。

釜小学区は車の通行の激しい地区で、児童の登下校には十分な注意が必要である。過去には児童が巻き込まれる大きな事故も発生していることから、常時指導として毎月25日を含む1週間を釜小交通安全週間とし、校内放送による呼び掛けを通して安全な歩行や自転車の乗車に対する意識付けを行っている。

街頭指導は、PTAや地域の方々のご協力を頂きながら、学区内の交通量が多い場所で行っている。

5 成果と課題 (○：成果 ●：課題)

- 下学年の実態に応じた学習活動を設定したことで、実感を伴った理解につなげることができた。感覚で動いてしまう場面が多い下学年に対して、見通しの悪い場所や飛び出しの危険について体験を通して実感させたことで、交通安全に対する意識が高まった。
- ICT機器を効果的に活用することによって、効率的に学区内の様子を確認することができた。教室内で実際の場所を確認したことで、フィールドワークを行わなくても限られた時間で広範囲の様子を捉えることができた。
- 児童によって安全に対する意識の差が見られる。地域から児童の登下校の様子について苦情が寄せられることもあることから、全校児童が日常的に交通安全の意識を持って登下校できるように、継続的に指導していく必要がある。
- 児童だけではなく、保護者に対する交通安全の啓発も必要である。児童の安全意識は保護者から影響を受ける部分が多いことから、保護者に対しても交通安全について考える機会をつくっていく必要がある。

6 交通安全の取組に係る評価

	項目	評価	評価に係る具体的な姿・根拠等
1	職員の安全意識や技能	B	普段の下校指導や集団下校、長期休み前の安全指導で、危険箇所とその理由について具体的に指導できた。
2	児童の安全意識や技能	B	安全に登下校するにはどのようなことに気を付ければ良いか説明できる児童が増えた。

A「大いに高まった」 B「やや高まった」 C「変わらない」 D「低下した」